

チャイルドラインの今の状況

チャイルドラインでは、2016年度から、子ども専用メールを始めました。現在は試行中なので、返信は自動応答メールのみで、相談に対する返事はしませんが、返信は無くても子どもたちは、自分の置かれている環境やつらい気持ちを訴えてきます。

また、第2回オンライン相談(チャット)を6月10日、11日に試行しました。今の子どもたちはネットやSNSをコミュニケーションの手段としています。話すことに抵抗を感じる子どもや、耳から入る情報より目から入る情報の方が理解できる子どもなど、子どもにもいろいろな特性があります。多様な子どもの声を受け止める方法を用意し、子どもの気持ちに寄り添っていきたくと思います。



レッジョ・エミリア市を視察して

vol.3

訪問したどの保育施設にも「アトリエ」があり、落ち葉や木の葉、小石など自然のものや日本の保育園では見ないような、人口の工業製品など多種多様な素材が用意されていて、それらが整理されながらも全体がアートのように置いてありました。また、壁にはプロジェクターで作品が映し出されていたり、廊下や階段の踊り場にもさりげなく季節の物や作品が置いてあり、美的センスの良さに感動するとともに、この環境が子どもの表現を広げていくのだと感じました。レッジョ・エミリア・アプローチでは、ペタゴジスタ(教育専門家)とアトリエスタ(美術専門家)を置き、保育者と共に子どもに関わっています。アトリエスタは美術を教えるというのではなく、生活の中に美術的センスを入れることを教えるのだそうです。



また、壁にはプロジェクターで作品が映し出されていたり、廊下や階段の踊り場にもさりげなく季節の物や作品が置いてあり、美的センスの良さに感動するとともに、この環境が子どもの表現を広げていくのだと感じました。レッジョ・エミリア・アプローチでは、ペタゴジスタ(教育専門家)とアトリエスタ(美術専門家)を置き、保育者と共に子どもに関わっています。アトリエスタは美術を教えるというのではなく、生活の中に美術的センスを入れることを教えるのだそうです。

お知らせ

7月15日祇園祭りの際、17:30より事務所前でチャイルドラインのファン活動としてバザーをします。(くるくるレインボー・タオル・チョコレート・小物等)

●チャイルドラインMIE

(きいてほしいな...) 子どもの心を受け止める
18歳までの子ども専用電話
0120-99-7777
毎週 月曜日～土曜日
午後4:00～午後9:00
●こどもほっとダイヤル
(助けて!も言える) 子どもだけが相談できる
18歳未満の子どものための相談電話
0800-200-2555
毎日 午後1:00～午後9:00
(12月29日～1月3日はお休み)



●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円
※入会金：300円

会員数 正会員：27名 参加会員：4名 支援会員：83名 賛助団体会員：24団体(6月末現在)

【賛助団体会員】

医療法人 イワサ小児科	医療法人 桜木記念病院	東海印刷株式会社	松阪市健康体操連絡協議会
うれしの 太田クリニック	ささおこどもクリニック	東海シール株式会社	まんのう整形外科
大久保クリニック	株式会社 ジェントリー	ナガフジ産業株式会社	医療法人 南産婦人科
おおたクリニック	上瀬クリニック	はせがわこどもクリニック	医療法人社団 鷺尾小児科
岡田パッケージ株式会社	医療法人 たるみ内科胃腸科	健康体操 ひまわり会	他一団体
医療法人 河合産婦人科	医療法人 地主矯正歯科クリニック	株式会社 富士土地	
	鎮守の森を夢見る会・その二	株式会社 フレンズ	
		ミスタードーナツ・松燈庵	

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月～金10:00～17:00)
TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpojp/> eメール info@mknpojp.jp



子どものためのシェイクスピア「リア王」

大人も子どもも同じ空間で一緒に楽しめる質の高い舞台芸術体験です。今年はシェイクスピアの4大悲剧の一つ「リア王」です。自分への愛の深さを娘たちに問い、言葉巧みに父を喜ばせる長女と次女に対し、愛を言葉にできない末娘コーディリアは、リア王を怒らせて勘当されてしまう。娘の愛情をはかりにかけた王の物語。是非この機会にご覧下さい。

日時：2017年8月19日(土) チケット料金
会場：三重県総合文化センター (一般)大人7,000円 18歳以下3,500円
三重県文化会館 中ホール (会員)大人6,500円 18歳以下3,000円
開演：17:00(開場16:30) 2階自由席
終演：19:00(予定) (一般)4,000円 (会員)3,000円
ロビー企画：15:00より 2階高校生自由席 500円(要学生証提示)



「リア王」観劇☆電車でGO

子ども時代には様々な体験が大事です。日頃、自分ではあまりしないことを体験しませんか? 夏休みの体験のひとつとして、子どもだけで切符を買って、電車とバスに乗って博物館 MieMu に行き、トンボ研究家の刀根定良さんの昆虫のはなしを聞きます。さらに、三重県総合文化センターではロビーで遊んで、シェイクスピア「リア王」の舞台を観ます。

対象：小学1年～6年

参加費：5,800円

(リア王子チケット代・保険代・おにぎり2個含む)

定員：20名



タイムスケジュール

11:20 松阪駅集合 JR電車に乗ります!
12:15 津駅到着 バスに乗ります
13:15 三重県総合博物館 MieMu(みえむ)
トンボ研究家 刀根定良さんのおはなし☆
15:00 「リア王」ロビー企画
17:00 開演
19:00 終演予定
19:30 三重県文化会館出発予定
20:30 松阪駅到着予定

チャイルドラインチャリティー映画「さとにきたらええやん」



チャイルドラインチャリティー映画会として7回目を迎える今回の映画「さとにきたらええやん」は、日雇い労働者の街、釜ヶ崎で38年間続く子どもたちの集いの場「こどもの里」の日常を追ったドキュメンタリー映画です。「さと」と呼ばれるこの場所は、障害の有無や国籍に関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用出来る居場所です。全国的に子どもの居場所づくりに関心が集まっているこの時期に、松阪子どもNPOセンターでは実行委員会を立ち上げ、地域の方やママさん達と共に、沢山の人が観てもらいたいと会議を重ねています。来年2月25日に3回上映します。また、10月22日の社会的養護の社会化フォーラムでも「さとにきたらええやん」を上映します。どうぞお楽しみに!

社会的養護とは



社会的養護ってなに？

保護者のない児童や、様々な事情で、家庭で養育をうけられない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことです。

社会的養護は、「子どもの最善の利益のために」と「社会全体で子どもを育む」を理念として行われています。

三重県にも500名程度の社会的養護が必要な子どもたちがいます。要保護の前の養育支援が必要な子どもはもっとたくさんいます。



具体的にはどういうこと？

乳児院、児童養護施設やグループホームなどの施設で子どもを養育する施設養護と、養育里親、専門里親、特別養子縁組などの家庭的環境のもとで子どもを養育する家庭養護があります。



私はこんなことをしています

学童保育で、昼間保護者が労働等により保育できない家庭の子どもたちのために、安心安全に過ごせる場を作っています。しかし、一人で留守番するすべての子どもが利用しているわけではありません。料金や長期休暇のみの利用ができないなどで、利用できない家庭もあります。

「他所の家庭だから関係ない」「口出しするのは気が引ける」と思わずに「子どもはみんなで育てていけばいい」と思い、子どもたちには進んで声をかけるようにしています。みんなが見守っているよ、あなたたちの味方だよ、と発信し続けるためにも、「おせっかいなおばちゃん」でいることを心掛けています。

多くの方が、社会的養護の下で育つ子どもたちや、そこから育っていった人たちに興味を持ち、生きづらさを理解することで、みんなが優しい、温かい社会になっていくのでは…。

A・T

社会的養護の社会化フォーラム

～つながってみんなで育てたらええんやに～

日時：2017年10月22日（日）

場所：三重県総合文化センター フレンテみえ

内容：子どもたちの現状を多くの方々に知って欲しい！という思いから「社会的養護の社会化フォーラム」を企画しました。フォーラムを通して、社会的養護への理解者を増やし支援者の輪を広げていくことを第一義的目的としながらも更に、子ども・里親・施設等への支援のあり方や制度の問題などを、一人でも多くの方々と考え合う機会にしていきます。

午前：映画「さとにきたらええやん」上映

午後：基調講演 荘保共子さん（NPO 法人こどもの里理事長）

パネルディスカッション、分科会 を予定しています

主催：社会的養護の社会化フォーラム実行委員会

フォーラムに参加して、社会的養護や、子どもの権利について知ることは、一人ひとりの子どもの幸せのための一歩となります。ぜひ参加してください。

松阪子どもNPOセンターの事業

チャイルドライン

指示しない、指導しない。「子どもが主体である」ととらえ、子どもの心を受け止める18才までの子ども専用電話

こどもほっとダイヤル

気持ちを傾聴し、子ども主体の解決方法を一緒に考えます。子どもの意志により特定することもでき、専門的な対応が必要な場合は関係機関に繋ぐことができます。

里親普及啓発事業

里親について理解と支援を拡げる

学習支援事業

週1回1時間、児童養護施設の小学生と向き合い学習支援

養育支援訪問事業

家事育児が困難な家庭へ2人1組で訪問し、養育者に寄り添い、自立を支援する

ファミリーサポートセンター事業

預かり支援をとおした地域の中での子ども支援

おかしいな、心配だなと思った時、通報することが子育て支援の第一歩にもなります。地域の中で子どもと子育て家庭を支え、共に育ちあっていくことが、親のストレスや孤立感を軽減させることで、児童虐待などの発生を防ぐことができます。日頃から親同士の支え合いや助け合いのできるコミュニティづくり、相談し合える環境づくりや、地域の方の見守る目が大切だと思います。